

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年1月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697300020
法人名	社会福祉法人 恵誠会
事業所名	グループホーム 花神荘ひまわり
所在地	鹿児島県肝属郡肝付町後田2543番地1 (電話) 0994-65-7667
自己評価作成日	平成27年12月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム花神荘ひまわりは、周りに畑がありのどかな自然があふれた場所にあります。また近隣に買い物できるお店も多数あり便利であります。体調面では主治医の病院も町内にあり定期的に受診も行い安心できる点もあります。入居された皆様もゆっくりとした空間の中で出来るだけ本人のペースで過ごせるように努めています。私達職員も生活の中で笑顔が見れるように支援を行っております。季節ごとにホーム内でのイベントも計画(花見、ドライブ、七夕、敬老会、クリスマス、そば打ち、初詣、節分など)しております。そして地域の振興会の理解や協力をもらいながら、地域行事(花見、十五夜、鬼火たき等)にも参加させて頂いております。今後も入居者・ご家族の皆様にグループホーム花神荘ひまわりに入居し良かったと言われるようなグループホームを目指していきたいです。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年1月15日

- ・当事業所は、敷地内に同法人のグループホームが隣接しており、災害時の協力関係が構築されている。周辺にはコンビニや大型店舗もあり、利便性が高く、散歩の際には挨拶や会話を楽しめる環境で、地域の人から野菜などもらったりしている。
- ・母体法人は特別養護老人ホームや介護事業所を運営し、地域の健康や福祉に深くかかわっている。協力医療機関との24時間医療連携体制も整っている。
- ・食欲や体力・気力の衰えを主治医や関係者で話し合い、入れ歯の調整をすることで回復し笑顔も戻り、本人や家族の喜びとなった。利用者個々人のケアを大切に、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援している。
- ・管理者は話しやすい環境を整えて、職員の意見や提案を積極的に反映させている。職員間のチームワークも良く、家族からの信頼も厚い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者や家族の笑顔を大切に、優しさと思いやりのある介護支援モットーに、また地域との輪を広げられるよう職員みんなで努めている。理念も定期的に確認し合っている。	職員で話し合い、地域との関連性を重視した独自の理念を、玄関やホールに掲示している。職員会議等で意識づけし、理念の共有を図り、実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回グループホーム便りを近隣振興会長宅に届け、振興会の回覧板などでGHでの生活状況や活動を報告し、地域の活動などある時は連絡頂き、地域行事の花見・十五夜・鬼火たき等に参加させて頂いております。	地域行事の十五夜や鬼火焚きなどの行事に積極的に参加する一方、同法人の特別護老人ホームの夏祭りなどの行事には地域住民が多数訪れて交流している。ボランティアの受け入れも行っている。月1回ホーム便りを回覧板等で活動内容を報告している。ホームの広い庭で子供たちが遊びに来てサッカー等をしたり、行事の時は車の乗降の手伝いも地域住民が支援している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域のお花見や十五夜に参加させて頂き交流を行い、入居者のさまざまな状況を確認して頂いております。車への乗り降りや入居者の誘導などもスタッフと共にお手伝いいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者の生活状況・施設のサービス状況の報告を行い、また情報提供（新しい事や分からない事など）をもらい参考にしご指導や助言を頂き、見直しに繋がっています。</p>	<p>会議は2ヶ月に1回開催され、事業所の活動報告や状況・外部評価結果報告などを行い、意見交換をしている。参加者から地域行事や防災情報・要望や意見をもらってサービスの向上に努めている。助言で安全な避難場所の確認などだ出され、具体的な改善に繋がっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>2か月に1回の運営推進会議で生活状況の報告や助言・指導を頂き介護保険の手続き等で役場に行った時にちょっとした事や質問等がある時は尋ねたり・報告し連携に繋がっています。</p>	<p>町担当者とは、訪問して活動状況を伝え利用者の相談や情報を交換して助言を貰っている。運営推進会議を通して現場を知ってもらい協力関係ができています。町主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関は日中は鍵を開け、いつでも出入りできるようにし、好きな時に屋外へ出かけられています。身体ケアに関しても拘束になるような事はせず、職員みんな身体拘束はしない心がけで支援しています。</p>	<p>法人全体で身体拘束ゼロに取り組み、研修会や職員会議で事例を挙げて研鑽している。言葉の拘束や言葉かけについても研修している。日中の玄関の施錠を含め、拘束ゼロを目指している。帰宅願望の利用者にはドライブや一緒に散歩する等、自由な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人の研修会やGHの研修会で虐待防止について話し合いを行っている。支援の中でも虐待のないサービスに努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在対象者はいませんが今後研修会等で勉強をしていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関する事項は家族が分かりやすく納得してもらえるように説明を行う事を心がけています。皆様が心配される退所時も利用者や家族との関係が一切きれなくなるわけではなく、いろんな点で協力させてもらう事の説明をしています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	6月に行った家族会の説明の中で要望や意見等をあげて頂き話をおこなったり、アンケートも常時準備しています。また、家族の面会時に何か要望等がないか常に家族が来て下さった時は話を聞かせて頂いております。時々家族からの要望が聞かれ、その都度対応させて頂いております	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聴き思いを把握している。家族からは面会や電話・家族会・アンケートから意見を聴いている。月1回は便りや状況報告をして機会を見て話をしている。出された要望で、火山灰の除去についてや玄関にインターホンの設置の要望に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>研修会でも職員に意見や提案をあげてもらっています。また日常的に何か気づきがあると職員の声が聞かれるので、意見や提案を反映するように努めています。申し送りノートでも達し事項など確認し合っています。</p>	<p>代表者や管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、申し送りノートや職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。ケアや行事に関することが多く、運営に反映している。個々人の相談はそれぞれに話し合い、その都度解決している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年に2回勤務評価表にて従業員の評価を行なっています。その評価が賞与や昇給へつながる様に努めています</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修にも参加し、GH職員会や普段の生活の中でも介護技術が不足している点があれば指導行なっています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>知人の同業者の方と連絡を取り情報交換を行い介護サービスについて参考にさせて頂いたり外部研修会に参加した時に交流を図っております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	顔を覚えて頂く事を念頭に置き、利用者の不安を少しでも減少させる事が出来ればと利用者より話を聞かせて頂き、利用者の安心感につながる様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の大半はグループホームでの生活に慣れて怪我等せずに不安なく過ごす事を望まれる事が多く、その気持ちに沿えるように入居者の支援に努めています。ご家族にも遠慮なく面会に来て下さる事をお話しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者や家族に生活の中での希望を聞かせて頂き、必要な支援を確認し、大事な点や対応方法などある時は確認して利用者のサービスに繋がれ利用に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に過ごしていく中で、利用者の出来る事を把握し、無理のない範囲で洗濯物たたみや軽作業を一緒に行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方も定期的に面会に来て下さり、一緒に出掛けたりお部屋で一緒に過ごす時間を持って下さっています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	各入居者の自宅周辺へみんなでドライブにも行かせて頂きました。家族や親せきの方も定期的に面会に来て下さっております。	入居時に家族からの情報で友人や習い事の仲間・昔の職場の知人等を把握している。近隣の利用者が多く家族の面会も多い。地域行事への参加や馴染みの店へ買い物・自宅周辺にドライブに出かけるなど、関係を継続できるように働きかけている。家族の協力を得ながら外出や外食・墓参・理美容院の利用などの支援もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士で相性が合うあわないもあります、入居者が孤立することの無いように職員が間に入り関係性を少しでも持てるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	体調面で長期入院による退所された方でも時々面会に行き経過の確認に努めています。また家族に買い物時など会う事もあり状況を確認する事もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の生活ペースに合わせて過ごしてもらい、GHで過ごす中での話も聞かせて頂き、どのように過ごしていきたいか聞いたり、人に言いづらい事もないか顔の表情など普段の中でも気をつけています。夜間帯に利用者がお話しして下さる事もあり、その情報も職員で共有しております。	日々の生活の中で会話や表情などから思いや希望の把握に努めている。特に入浴介助時や夜間勤務での気づきを大切に、利用者同士の話の中で見えてくるものもある。記録している。職員間で情報を共有し、利用者本位の支援に結びつくよう検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人や家族に話を聞かせて頂き、また入居後でも普段の会話の中で自然と出てくる生活歴など以前の事を教えて頂き、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一緒に過ごす中で、普段と違う点が見られた時は、特にみんなで気を付けるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族・職員で担当者会議や面会時に話を聞かせて頂き、その言葉を大事にし、より良いケアが出来るように介護計画を作成している。	本人や家族が参加しての担当者会議で話し合い、主治医の意見等も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。6カ月毎にモニタリングを実施し、必要時に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々その日の記録担当が中心になり記録を行い、全職員見て確認している。いつもと違う事があった場合、情報を職員同士で伝達し、必要な時は介護計画の見直しに繋げていくようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	「髪を切りたい・染めたい」話が聞かれた時は、すぐに入浴のある日に散髪などさせて頂いております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物できるお店も数点あり便利です。駐在所も近くにあり、「何かある時は連絡ください」と言葉もかけて頂いております。また年に1回は避難訓練時に消防所より立会いして下さい、職員や利用者へもアドバイスを頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	グループホームでは利用者の皆さん統一した協力医療機関があります。月2回診察を行なっています。診察時の主治医の言葉を家族にも定期的に伝えております。夜間等、緊急時の連絡体制が出来ております。	本人や家族の意向で、母体医療機関が主治医となっている。月2回の往診や看護師訪問もあり、24時間医療連携体制が整っている。歯科訪問診療もある。受診結果はそのつど家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関の看護師が、月20日ほどGHひまわりと同敷地内になる同系列のGHに訪問する機会があるので何か相談事がある時は尋ねさせて頂きアドバイスなど受けています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された時は、利用者が少しでも安心して頂ければと定期的に面会に行き、病院の方にもその都度、話を聞かせて頂き身体状況を確認しております。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前に、グループホームに入所した後、身体が重度化があった時など、主治医の意見を参考に同系列の特養への移動をお願いするケースがある事を説明しております。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。入居と同時に同法人の特別養護老人ホームとの連携も説明している。状況変化に伴い段階的に家族と主治医・職員で話し合い、本人や家族の思いを共有できるよう取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者一人一人の既往歴等を確認する。また緊急時等の対応について、会議や随時必要時はその都度話を行なっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難防災訓練を年に2回行ない消防署からもアドバイスを頂いており、同敷地にあるGH花神荘とも連携を図っています。施設にスプリンクラーも設置し、また近隣の振興会長とも火事など緊急時の協力についてもお願いしています。</p>	<p>年1回消防署立会いのもと、夜間想定避難訓練を実施し、さらに年1回自主訓練を行っている。隣接する同法人のグループホームとの協力体制もできている。特別養護老人ホームが避難場所として災害訓練に地域住民と共に参加している。地域の災害連絡網やスプリンクラー・緊急通報装置も設置され、地域住民の協力体制もできている。災害時の米や水などの備蓄もある。法人全体でも食料等を備蓄保管している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>プライバシーに気配りを行い、利用者の人格を損ねないように接しています。</p>	<p>人格やプライバシーに配慮して、人としての尊厳を保てる言葉かけや対応に留意している。定期的にマニュアルを基に研修し、職員の資質向上に取り組んでいる。性格や習慣を把握し、声かけや対応を心がけ、入室時のノックや入浴・排せつ時の声かけは特に注意している。ポータブルトイレは見えないように衝立を置く等、配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>まずは話を聞く事が第一と考え、利用者の話は傾聴するよう心がけています。利用者の意見や希望を聞いて、それに答えられる様に心がけています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の考えを第一に、日課はありますが無理強いしないように心がけています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>衣服は本人の着たい物を着てもらおう。髪型は出来る方は自分でクシ通しなどしてもらっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の会話の中で、好きな食べ物・懐かしく食べてみたい物を聞かせていただき調理してみたり、菜園で作った野菜を皆様にも成長の過程を散歩がてら見て頂き喜ばれておりました。食べたお茶碗を一つのお盆に片づけをしてくださったり、台拭きやコップの片づけて下さる事もあります。	菜園の野菜を採取して食べたり、食材の買い物に行ったり、嗜好に配慮したり、食事形態を工夫している。利用者の力量に応じた後片づけを職員と一緒にしたりしている。誕生会や季節の行事食・手作り弁当持参で足湯に出かけるなど食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録し身体の調子は良いか確認している。水分補給の大切さも説明したり主治医の診察時採血など行ない指導も受けております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後自分で口腔ケア出来る方はお願いし支援が必要な方はお手伝いしています。嗽は自分でくださる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時間を記録に残す事で、排泄時間を把握し必要な方はトイレ誘導行っています。各食前・食後の排泄の声かけも行う。便秘がちな方もおられ、水分補給や出来る範囲の運動も声を掛けさせて頂いています。	排泄パターンを把握し、声かけや誘導の工夫でトイレでの排泄を大切にしている。夜間のポータブルトイレ利用者もいる。リハビリパンツから布パンツに改善された事例がある。水分調節や運動などを工夫し、自然排便と排泄の自立を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の記録を行い便秘防止を図っています。食事・水分補給や運動の声掛けを行なっています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	1日越しの入浴を施行しています。無理強いせぬよう行なっています。体調不良で入浴行っていない時は清拭や足浴・更衣だけ等その方に確認し行なっています。	基本的に隔日入浴であるが希望があれば毎日でも入浴が可能である。時間帯も本人の希望で柔軟に対応している。午後からの希望者が多い。同性介助を支援している。足浴や清拭も含めて柔軟に対応している。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など職員で連携して状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者が自室でのんびりしたい・ベッドで休みたい時などはお部屋でゆっくりして頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	診察後の薬の処方に変更で新しい薬が処方された時はみんなに説明行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日々体操や歌・屋外散歩など行ない、また各季節の行事（ドライブ、花見、敬老会、クリスマス会等）は皆さんが楽しんで頂けるように計画を立てております。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日はみんなで外へ出て外気浴を行い、また自宅近くのドライブをしたりして気分転換も図っております。（時には個人ドライブも）</p>	<p>日常的には近隣の散歩やベンチで外気浴を行っている。希望によりドライブを兼ねて自宅近くまで出かけたりもする。計画を立てて初詣や花見などにも支援している。家族の協力外出や外食・墓参などにも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分でお小遣い程度のお金を管理している方は2名おられます。時々買い物をお願いされる事があり支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>昨年は希望をとって、年賀状を書きたい方は書いて出しております。利用者より電話の依頼がある時は電話を自由に使用して頂いております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	GHの建物は段差が無く手すりを設置し、車イス用のトイレも設置しています。リビングは天井が高く天窓もあり、利用者の方が過ごしやすいうようにバリアフリーの作りとなっております。	共用空間は、天井が高く天窓があり、換気や採光・湿度に配慮し開放感があり清潔である。リビングは季節感を大事にした飾りつけがなされている。ソファも多く居心地よく過ごせるような工夫をしている。非常口も広くてわかりやすい。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各居室にはベット・クローゼット・タンス・洗面台・クーラーが設置してあり、それぞれの方が自由に過ごせる環境を作っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族にお部屋を確認し、それぞれが必要だと思われる物を持参して頂き、また居室も利用者が過ごしやすいうようにテレビや棚など設置しております。	居室はすべて洋室で大きな窓があり明るい。ベッドやクローゼット・洗面台・たんすが設置され、個々の馴染みの品物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれている。テレビや飾り棚・写真がたくさん飾られ、楽しい居室になっており、居心地の良さが配慮されている。夫婦の居室もある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は移動しやすいように段差を作らず、手すりを設置しております。夜間に備えて自然電灯消灯の設備を設置している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない